

令和3年度 第1回国際委員会議事録

日時：令和3年4月6日（水）21時

場所：Web開催

出席：（担当理事）伊東学（委員長）中村雅也

（委員）石井賢、小澤浩司、川口善治、酒井大輔、高橋真治、高畑雅彦、
宮城正行、八木満、大和雄

（アドバイザー）松山幸弘、波呂浩孝、千葉一裕

欠席： 村上英樹（敬称略）

1. SAS2021に関する今後の対応（資料1、2）

NASSと協議の結果、1）基本的にはJSSRサイドはオンライン参加であること、
2）ファカルティの参加はシンポジウムが中心となること、3）シンポジウムの
JSSRサイドの座長はアサインしたこと、4）変性迂りのディベートへの参加は
厳しいことを連絡した。以上を報告し、審議の結果、小澤委員より、4）のディ
ベートへの参加のご提案があったので、至急NASSサイドに連絡することとした。
状況の不確定要素が多々あるので、状況が代わり次第本委員会で情報共有をす
ることとした。

2. 令和2年度トラベリングフェローに関して

現状：一昨年12月に審議の結果、以下の10名を令和2年度ATFとして決定し
たが、新型コロナの影響のため、いまだ実施できていない。これを受けて、昨年
はATFの応募を実施していない。

- | | | |
|----------|-------|-----------|
| 1：神戸大学 | 由留部 崇 | ウルベ タカシ |
| 2：慶応義塾大学 | 辻 収彦 | ツジ オサヒコ |
| 3：京都大学 | 清水 孝彬 | シミズ タカヨシ |
| 4：浜松医科大学 | 安田 達也 | ヤスダ タツヤ |
| 5：関東労災病院 | 唐司 寿一 | トウノス ジュイチ |
| 6：札幌医科大学 | 黄金 勲矢 | オウゴン イザヤ |
| 7：北海道大学病 | 山田 勝久 | ヤマダ カツヒサ |
| 8：公立昭和病院 | 藤井 賢吾 | フジイ ケンゴ |
| 9：東京大学 | 永田 向生 | ナガタ コウセイ |

10: 東京医科大学 村田 寿馬 ムラタ カズマ

(Visiting Scholar は応募者なし)

今後の対応：

- ① 現状を勘案すると今年の渡航は厳しい可能性が高いため、令和2年度の上記10名に現状を連絡し、来年以降の参加の意志を確認する。そのうえで、受け入れ先の状況が許せば、来年以降に実施する方針とした。
- ② 今年の募集は行わない方針とした。新型コロナが沈静化した際には来年は募集を行う。その際の要項として、2年間募集を行わない間に年齢制限を迎えてしまう候補者に配慮し、これまでの年齢の上限を引き上げる、派遣人数を増やす等の措置を考慮する方針とした。

3. その他 特になし

次回委員会日程： 未定

以上